

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 5日(月) 19時00～21時00		
市町村名	三郷村	グループ名	
メンバー	(: 司会、○ : 記録者)		

今回は出席者が少なかったため、2グループ合同で話し合った。

1. 県から出された資料

- ・新道路整備5ヶ年計画
- ・費用対効果の検討

2. 前回出された質問の答え

Q. 将来予測の基準は

A. 新道路整備5ヶ年計画に基づき、1995年を100として、2020年は人口は99、GDPは1.6倍等をもとに予測している。

Q. 広域農道の車両が減少している理由は

A. 穂高町役場前が発生集中の起終点となっているため、それより北に行く車はカウントされていないの？減少していると考えられる。

Q. 大町以北の予測がないのは

A. 波田～大町間が調査対象なので、大町より北は数値がでていない。

3. 今回の意見交換会の意義

前回の質問に答えてもらう。要望が出された資料の提供。

1回目、2回目を踏まえて、議論を深める。

意見交換会終了後、話し合われた意見はどのように集約されていくのか、どのように反映するのか見届ける。

・村議会の対応(前回の発言との関連で)

全員協議会で建設事務所より説明を受けた。

南安議員大会、豊科町、三郷村、堀金村、三町村広域行政協議会、三郷村、梓川村、二村広域行政協議会で推進の要望を決議している。

4. 出された意見

村で話し合いが行われたことは良いことだが、今までの経験だとどんなに議論をしても、実際には反映されないことが多く空しく感じる。参加者がこれほど少ないとは思わなかった。

高規格をつくると、工業・商業は活性化されると思うが？農業は9分どおりやりにくくなる。

中部縦貫道の見なおしを行うとしている。高規格は中部縦貫につなげるのが本来の計画である。中部縦貫ができなければ、大町～堀金間の工事は無駄な公共事業になる。

農道をつくったことで田んぼの面積が半分にされた。夕方のラッシュ時に田んぼから農道へ機械を出すのに、苦労した。しかし、高規格をつくっても農道の交通量が減少するとは考えられない。村で必要なのは、松本へのアクセス道路の充実。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 5日(月) 19時00～21時00		
市町村名	三郷村	グループ名	
メンバー	(: 司会、○ : 記録者)		

9月議会で村道471・472・477号について、一般質問が議員より行われているが、村では高規格へつながる道路をつくろうとしているのではないかな。

産業・商業が衰退している。農業はそれ以上に音を立ててくずれていっている。道路建設より先にやることあるのではないかな。

高規格は村にとって利益にならない。10t・20tの大型車で何を運ぶのか。ITは小型化されている。大型車でくるのは産業廃棄物だけ。

松川村の扇状地の伏流水への影響はないか。盛土にすれば地下水に影響はないとは言えない。水に関する調査をしてもらいたい。また塩カルクの被害も考えられる。地下水が汚染されてしまえば？お金をかけても回復はできない。(県の答え、事前に調査する)

自然を大切に、安全な食物を食べたいというように価値観が変わってきている。高規格をつくることはこの時代の流れに反対のねじをまいていることになりはしないかな。

三郷村の自然が大好きで住んでいる。自然が豊かで住民が安心して暮らしていける環境を守っていききたい。

5. これからの方向

この交換会で出された意見がどのように集約され、反映されていくか見届けるためにこの会をグループとして残す。

今後の方向が決定したら、建設事務所より、この会の出席者へ連絡をしてもらう。

6. 要望事項

他町村の交換会と交流したい。

この会の内容を広報などで村民に知らせて欲しい。

< 村の答：広報で知らせることはやぶさかではないが、どうまとめていくかは今後の課題である。 >